



月次祭 7月19日(土) 午前10時～
婦人会例会 7月9日(水) 午前10時～

今年の梅雨入りは早かったように思いますが、このところ猛暑日が続いています。確かに6月で夏服に着替えることが多いですね。写真は一太郎に付属する感太を使って選択された写真。「夏服」。涼しげな夏服ですが、直射日光はいくら涼しい服でも避けたいところです。最近では男性も日傘を使う人が増え

たように思います。キラキラ太陽を遮ってくれる日傘はありがたいものです。教会の神殿にはエアコンは一台。祭典日以外は稼働しませんが、この暑さ一台のエアコンによる冷房がどれほどありがたいことか、扇風機をうまく使って風を循環させるととりあえず酷暑は越せそうです。普段は、窓を開けて風を通して凌いでいますが、祭典日だけのちょっと嬉しいエアコンです。

今日の
おやのことは

「身の不足」

身の不足思うて尋ねる処、諭し置こう。
身はかしのもの、心一つ我がもの。



おさしづ 明治21年9月頃

<おやのこころ>

高校1年生の初夏のことです。突然、くしゃみと鼻づまりが続くようになり、時々、涙も出るようになりました。あまりに鼻水が出続けるので、病院を受診すると、「アレルギー性鼻炎」と診断されました。原因は「よく分からない」とのことです。

それまで鼻炎で苦しんだことはなかったので、地元の北海道を離れ、関西で高校生活を始めたことも一因だったのかもしれませんが。

「身の不足思うて尋ねる処、諭し置こう。
身はかしのもの、心一つ我がもの」と

当時、花粉症という言葉は一般的ではなく、病名のある病気でもないのに薬をのむことには抵抗感がありました。処方された薬は机の上に置いたまま、なるべく「病気ではない」という意識で暮らすうちに、自然と症状が軽くなっていったことを覚えています。

以来、毎年同じ時期に鼻水と涙に悩まされてきましたが、いまま病気だとは思わないようにしています。近年では、これは年中行事のようなもので、自分の体調を確かめる良い機会だと考えています。

症状はいつも同じでも、その年によって状態はさまざまです。自分の体調を知るための

親神様から与えられたチャンスだと思えば、鼻水が出るのもあまり苦にならなくなるから不思議です。この原稿も、ティッシュで鼻先を押さえながら書いています。今年の体調は、どうでしょうか。(岡)

. . .

おさしづ原文

明治二十一年九月頃（陰暦八月）（陽暦九月六日乃至十月四日）松田虎太郎肺病に付伺
さあ／＼一つ／＼尋ねる。

身の不足思うて尋ねる処、諭し置こう。身はかしもの、心一つ我がものと。

神は不足な身上は貸したやない。身上に不足あると思うは違う。

皆心の不足を身に現われるのや。心さい速やかならば、身に不足は何にも無きものやで。

早く聞き取りて一つの思やん（思案）。何を悪い彼を悪いと言わん。心通りを皆身の内映る処を思やんせねばならん。身上ありての心あり、身上めん／＼のまゝにならんは、皆神のかしもの・かりものの理を聞いて、早く内々それ／＼一つの思やん早く取り直して、実真なる心を定め。身はどうでも癒らんやない。早く一つの心の掃除。一つの安心の道も運んで置かねばならん。それより実々の道へ運ぶようと。

. . .

かしもの・かりもののお話になりますね。

「神は不足な身上は貸したやない。身上に不足あると思うは違う」すごい一言です。

身上（みじょう）とは、身体を指します。かしものかりものとは、身体は神様から貸していただいている、心は自分で自由に使うことが出来るように守護されている教えです。

貸してもらっている体ですが無意識に使っています。何不自由なく使っているように思えるのですが、実のところ自分の体を100%コントロールできるわけではありません。

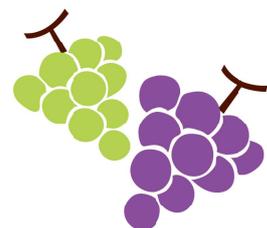
たとえば、ちょっと今日は心臓に負担をかけすぎたから1時間くらい止めておこうとか、ひどく暑くて汗がひどいから汗を止めようとか、歩き疲れたので、足の疲れを自分で回復させようとか、どうも風邪を引いて咳が苦しい、咳を止まれ！とおもっても駄目です。

それらは、心の不足を身体に現して、その心使いを改めるようにすれば、身体に不足は何もないと言われている。親神様は、願い通りの守護とは言われなくて、心通りの守護をされる。神前で拝して声には出さないけど願いや思いを親神様に伝えるとき、言葉の願い出はなくそのときのこころを受け取ってくださる。そのため、身上に起こったことを思案してこころをしっかりと決めて（決めて）祈ることで、身上が癒される。

おつとめを朝夕欠かさず務めるということは、朝夕に感謝と懺悔をすることを何百回とすることにつながる。この心の角をとることを常にすることに繋がるのだと思う。丸い心になれば、自然と身上も健やかになる。心の角を切り落とそう。

東中央初代の講話を連日デジタル化しているのだが、何で今迄気が付かなかったのか？
「心すみきれ極楽や」という御言葉について、「心澄み切れ極楽や」ではなくて、「心角切れ、極楽や」と説いておられた。
心の尖った角を百篇も切ったら丸くなる。丸い心になれ、という。

(上図 磯部 善太郎先生のFBより)





猫二匹・・・

昨年 11 月、十津川より里子としてやってきた三毛猫のミケ。この 5 月に実家に里帰りに連れて行ったのですが、そのとき、もう一匹お願いできないかということで預かったのが、チョコ Z。約一ヶ月が過ぎて、チョコ Z は基本隔離していますが、わたしたちが見れるときは解放しています。まるで、トムとジェリー。とにかく走り回る。追いかけて回す取っ組み合いのじゃれ合いをする。ギャフンと言っても負けていないから小さいのに負けん気の強いチョコ Z です。

ミケはメス、チョコ Z はオス。おそらくチョコ Z

の方が体格は大きくなると思うんです。足が大きいからねえ。

息子娘のいい癒やしになっているようです。動物のセラピー能力の高さに驚かされます。

・・・

付属建物屋根天井補修について

前会長が約 40 年前に普請した二階建ての付属建物ですが、先日、一階部分の張り出した軒の下部が落ちました。建築後一度だけ外壁塗装などを行いましたが、さすがに痛みが激しくなってきました。現在、数社に外壁・屋根の塗装と軒天の補修の見積もりを出していただいています。年祭活動のさなかで見せていただいた建物へのトラブル。

修復を行いたいと考えています。さいわい神殿部分については、今回は大きく手を入れなくても良さそうですので、二階建て部分について修理をおこないたいと思います。建築時にいろいろあった建物ではありますが、少しでも長く使わせていただきたく思いますので、皆様のお心寄せをお供えいただければと思います。無理にとはもうしません。

無理のない範囲でわずかがかまいませんので、普請にご協力お願いいたします。

・・・

支部楽器倉庫について

今年のコンクール前にわかった、支部鼓笛隊に無償貸し出ししている楽器倉庫の床が抜けてしまったことについてです。二階建ての西側にある倉庫は、2000 年に改装して二つの部屋にして一つをパソコン教室として使用。もう一部屋を南河内支部鼓笛隊の楽器倉庫として無償で貸し出していました。この部分は北西に位置して一番湿度の高いところでしたので、換気がよくないことから床板を支える木が腐って落ちてしまったようでした。

現在支部の楽器は別の教会で預かって活動に支障のないのですが、床を放置したままに出来ないことから、先月より支部ひのきしん部ほかの人の手によって、床を外し修復するようになっています。一人では出来ないことですが、人が集まれば着実にできあがっていきます。

こちらの費用については、支部への貸し出しをおこなっていたことから、支部で負担していただけることとなりました。完了まであと少しかかるようです。



身上について・・・

先日、市の健康診断を受けました。その結果市役所での特定傷病指導（メタボ直そうぜ！指導）を受けることになりました。確かに少しおなかは出ています。

約8年ばかり前に脊柱管狭窄症と診断されました。それ以前には椎間板ヘルニアもありました。椎間板ヘルニアは、ブロック注射1回で嘘のように収まりました。

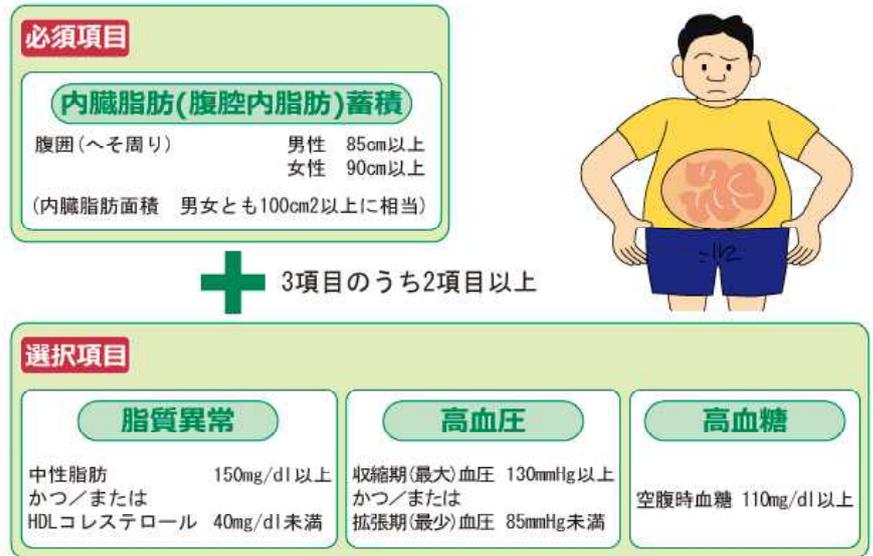
まあ無理をすると腰痛となって出てきます。脊柱管狭窄症は、母親がそう診断されたのを受けてキタムラでの仕事の姿勢などからどうもしびれと痛みが椎間板の時とは違うことから、診察を受けたところそう診断されたのです。たまたまそのときのキタムラ店長の弟が脊柱管狭窄症となって、全く握力などを失ったことを聞いて驚きと年齢に関係なく発症することを知りました。丁度翌年に支部長を受けてもらえないかと打診されたことから、1期3年遅らせていただいたこともあって、それを試されたのだと理解し、3年間務めることに心を定め、それと同時に同じ期間大教会の当番も受けさせていただきました。

すると、不思議なことに、受けると心定めて以降は、手足のしびれや痛みが徐々に気にならなくなっていきました。一番ひどいときは、約30分程度の天理時報の手配りですが、言うにいわない痛みがあったのですが、すっきり直りました。今では3時間バイクに乗っても何も問題ないほどとなっています。

特に治療はしていません。

大事なことは仕切って務めることなのだと思います。

メタボリックは生活習慣を直さないと思わないですから、指導を受けてかりているこの身体を良いコンディションにして行こうと思います。



必須項目

内臓脂肪(腹腔内脂肪)蓄積

腹囲(へそ周り) 男性 85cm以上
女性 90cm以上

(内臓脂肪面積 男女とも100cm²以上に相当)

選択項目

脂質異常

中性脂肪 150mg/dl以上
かつ/または
HDLコレステロール 40mg/dl未満

高血圧

収縮期(最大)血圧 130mmHg以上
かつ/または
拡張期(最少)血圧 85mmHg未満

高血糖

空腹時血糖 110mg/dl以上

3項目のうち2項目以上



45.心の皺を

教祖は、一枚の紙も、反故やからとて粗末になさらず、おひねりの紙なども、丁寧に皺を伸ばして、座布団の下に敷いて、御用にお使いなされた。

お話に、「皺だらけになった紙を、そのまま置けば、落とし紙か鼻紙にするより仕様ないで。これを丁寧に皺を伸ばして置いたなら、何なりとも使われる。

落とし紙や鼻紙になったら、もう一度引き上げることは出来ぬやろ。

人のたすけもこの理やで。心の皺を、話の理で伸ばしてやるのやで。心も、皺だらけになったら、落とし紙のようなものやろ。

そこを、落とさずに救けるのが、この道の理やで。」と、お聞かせくださいました。

